

ハイブリッドな労働環境の最適化 におけるモダナイズPCの役割を 理解する

目次

<u>エグゼクティブサマリー</u>	3
<u>主な調査結果</u>	4
<u>ハイブリッドワークの実現に焦点を当てたパンデミック後のビジネス優先項目</u>	5
<u>ハイブリッドワーク用に最適化されていないPC</u>	9
<u>PCには正しい機能、周辺機器、サポートプロセスが必要</u>	11
<u>PC改善への投資が存続するビジネス利益を推進する</u>	13
<u>主な推奨事項</u>	15
<u>付録A：方法論</u>	17
<u>付録B：回答者の属性</u>	17
<u>付録C：補足資料</u>	17

プロジェクトディレクター：

Chris Taylor

マーケットインパクト主任コンサルタント

研究協力者：

Forrester Future Of Workリサーチグループ

FORRESTER CONSULTINGについて

Forrester Consultingは、独立した立場から客観的な調査に基づくコンサルティングを提供し、経営陣の成功を支援します。当社のサービスの内容は、短期戦略のセッションから独自のプロジェクトに至るまで多岐にわたります。それらのサービスでは、調査を担当するアナリストが顧客に直接対応します。また、特定の事業における課題について専門家が知見を提供します。詳細については、forrester.com/consultingをご覧ください。

© Forrester Research, Inc. 不許複製・禁無断転載。本書を無断で複製することは固く禁じられています。本書の内容は、最適な情報源に基づいています。ここに記した見解は調査時点でのものであり、最新の情報とは異なる場合があります。Forrester®、Technographics®、Forrester Wave、RoleView、TechRadarおよびTotal Economic ImpactはForrester Research, Inc.の商標です。その他の商標の所有権は各所有者に帰属します。[E-51480]



エグゼクティブサマリー

COVID-19のパンデミックによる規制が緩和されてオフィス再開も進むなか、企業が通常業務に戻ることを期待するのは自然なこととは言え、新たな労働環境は以前とはすっかり様相を異にしています。オフィスワークのニューノーマルでは、在宅勤務者と会社のオフィス勤務者の混合が大幅に進み、より高まった柔軟性は従業員にとっては都合が良くても、ビジネスリーダーには、この新しい環境で従業員の成功をベストな形で実現させるために、検討を要する種々の課題が上積みされました。多くのPCは未だハイブリッドワークのセットアップには最適化されておらず、この新しいハイブリッドな労働環境での効果的な仕事のために従業員が正しいハードウェアやソフトウェア、周辺機器に適切に接続できるよう、雇用主側では投資すべき箇所のインベントリーを作成する必要性に迫られています。

2021年6月、Forrester ConsultingはMicrosoft社の委託により、パンデミック後のハイブリッドな労働環境におけるビジネスのためのデバイスとインフラストラクチャの要件を評価しました。Forresterは、このトピックの調査のため、世界11か国のIT、HR、基幹業務を担当する1,733人の意思決定者にオンラインアンケートを実施しました。

アンケート調査では、ビジネスおよびITリーダーは、正しいデバイスによってハイブリッドな労働環境がサポートされることを認識し、さらにそのニーズに合わせるためにPCへのより多くの投資にコミットしていることがわかりました。このようなPCの改善に伴い、ビジネスおよびITリーダーは、従業員が仕事をする場所に関わらずフレキシブルかつ協働的な労働環境のために従業員に正しいツールを支給することでモチベーションのアップを期待しています。これにより、さらに高い生産性と顧客体験の改善につながります。

主な調査結果 →

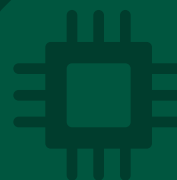


主な調査結果

パンデミック後の従業員関連のトップ優先事項はすべて、ハイブリッドワークのサポートに集中している。ビジネスリーダーは、パンデミック後も労働力の50%超を在宅勤務またはハイブリッドワーク（会社のオフィス勤務と在宅勤務の混合）の状態のまま残しておくことを予定しています。



従業員用機器を担当する意思決定者の75%が、向こう数年におけるPC／ノートパソコンへの投資の増加を計画している。予算を増額する企業については、PC予算の実質的な増額（10%増）を行う企業の総数は過去2年間よりも2.25倍の増加が見込まれています。



70%を超えるアンケート回答者が、ハイブリッドワークの成功には大規模ないし中規模のPC品質の改善が必要であると考えている。わずか32%の回答者のみが、現在使用しているデバイスが従業員の仕事に高度なモバイル性と柔軟性をもたらしていることに強い同意を示しており、さらに、現在のデバイスがハイブリッドワークのベストインクラスであることに強い同意を示しているのも30%のみです。



望ましい事業成果の推進には、PCに正しい機能とセキュリティ、サポートプロセスが必須となる。ハイブリッドワークのサポートに適切な安全性が確保され、正しい機能と周辺機器が搭載された正しいタイプのPCによって、従業員の生産性アップをはじめ、コラボレーションの促進、多様なワーキングスタイルを可能にする高い柔軟性がもたらされます。こういったメリットは事業の成功を大幅に推進します。企業が自社のデバイスフリートをよりモダナイズされたデバイスで改善することにより多く投資すれば、デバイスフリートの安全性確保と管理がもっと簡単になり、合理化も進みます。



ハイブリッドワークの実現に焦点を当てたパンデミック後のビジネス優先項目

地域によってはパンデミックの沈静化が見られ始めているとは言え、ビジネスリーダーは50%を超える労働力をリモートまたはハイブリッドの状態にしておくことを予定しています。これは大半の企業にとってパンデミック前の状態と比べて大きな変化であり、この新しい労働環境を成功させるためにビジネス優先項目を調整する必要が生じています。

パンデミック後の従業員関連のトップ優先項目は、コンピュータ周辺機器の使用増加によって仕事を簡単にすることに始まり、よりフレキシブルな働き方の調整の推進、従業員用コンピュータの品質改善によってハイブリッドワークをサポートすることが中心となっています。これがパンデミック前では、適切なデータアクセスとセキュリティ、ソフトウェアツール数の増加、コラボレーションの改善が中心となっていました(図1参照)。こういった以前の優先事項は依然として重要ではあるものの、企業がデバイスの品質とハイブリッドワーク方針の改善のほうに注力し続ける限りは将来的なベネフィットという位置付けになるでしょう。およそ40%の技術関連の意思決定者が、より良いハイブリッドな労働環境のための従業員からのリクエストでトップにあがったのはPC／ノートパソコンの改善とデバイス管理であったと回答しています。そして意思決定者はとくに、従業員の期待はPC／ノートパソコンは主に3つのファクターに集中していたと考えています：

- ・ **コアPCのパフォーマンス。**スピードの遅いコンピュータでの仕事ほど最悪なことはありません。従業員には頼れるデバイスが必要です。これはつまり、処理速度が高速で、バッテリー駆動時間が長く、多様なロケーションからの信頼性ある接続性をもつデバイスを意味します。これこそが、アンケートに応じた40%のビジネスリーダーにこのファクターが従業員の求める要件のトップであるとみなされた理由です。バッテリー駆動時間は、ハイブリッドワークの世界で従業員が異なる場所・状況を行き来し、コラボレーションスペースを利用し、移動し続ける状況の中では、より重要性が高まります。
- ・ **ビジネスシステム／アプリケーションとの互換性。**主要なビジネスアプリケーションをどこからでも動作させられる能力は必要不可欠です。この場所を選ばないアクセスに必要なことは2点です。1点目は、信頼性と安全性の高いインターネット接続と、2点目はシームレスなワークエクスペリエンスのための既存システムとアプリケーションの互換性です。もしも新しいPCにこのような機能がなければ、新PCに期待する生産性は得られないことになります。

- ・ **多様な労働環境との連携の容易さ。**ハイブリッドなオフィスワークは多くの組織にとって新しいことです。そのため、アンケート回答者のリーダーは、時間をかけて異なるコンフィギュレーションを検証し、組織の戦略に合わせて微調整するつもりであると述べています。このような不確実性が背景にあるため、従業員が今後さまざまなオプションがサポートされたPCを希望することも予測されるでしょう。

増加傾向にあるコンピュータへの投資額

ビジネスあるいは技術を担当する意思決定者は、現在のデバイスとその管理方法が、ハイブリッドな労働環境を完全に支援するものではないと認識しており、51%が、技術の改善が必要であると回答しています（図2参照）。このような改善のニーズを踏まえ、従業員用機器を担当する76%の意思決定者は向こう数年間でのPCへの投資額を増やすことを計画しており、うち、36%はデジタル投資の増大は2倍になると見込んでいます。これはPC予算の10%増という実質的な増額を行う企業の総数が、過去2年間と比べて2倍を超える数に相当するということになります。

76%

の従業員用機器を担当する意思決定者が、向こう数年におけるPC／ノートパソコンへの投資の増加を計画。

図1

パンデミック後の従業員関連のトップ優先事項はハイブリッドワークのサポートに集中

パンデミック前 (2020年3月より前)	パンデミック中 (2020年3月～2021年6月)	パンデミック後半および パンデミック後 (2021年6月以降)
 適切なデータアクセスと全ビジネスシステムをカバーするセキュリティを確実にする	 よりフレキシブルな職場（会社のオフィス、在宅勤務、ハイブリッドなど）の調整が可能	 市場に出回るコンピュータ周辺機器が増えたことで、ハイブリッドワークが容易化
 主要ビジネス業務をサポートするソフトウェアアプリケーション／ツールの数が拡大する	 市場に出回るコンピュータ周辺機器が増えたことで、ハイブリッドワークが容易化	 よりフレキシブルな職場（会社のオフィス、在宅勤務、ハイブリッドなど）の調整が可能
 コミュニケーションとコラボレーション／シェアリングソリューションが改善される	 従業員のウェルビーイングが確保されたコラボレーション／シェアリングソリューションの推進	 ハイブリッドワークにより対応するための従業員用コンピュータの品質改善

調査対象：従業員用の機器、ソフトウェア、パンデミック後のオフィス再開計画を担当するビジネス・技術関連の意思決定者1,733人

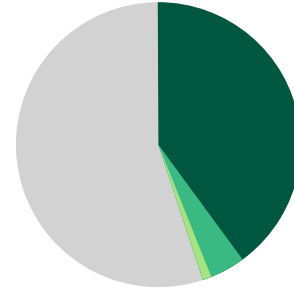
注：従業員関連の優先事項トップ3を表示

出典：2021年6月 Forrester Consulting調査 (Microsoft委託)

図2

「現在の貴社のPC／ノートパソコンとデバイスの管理プラットフォームは、ハイブリッドな労働環境のサポートに貢献すると思われますか？」

- はい — ただし改善の余地はある 45%
- いいえ — ただし小さな変更によって修正可能 5%
- いいえ — 相当な努力が必要 1%

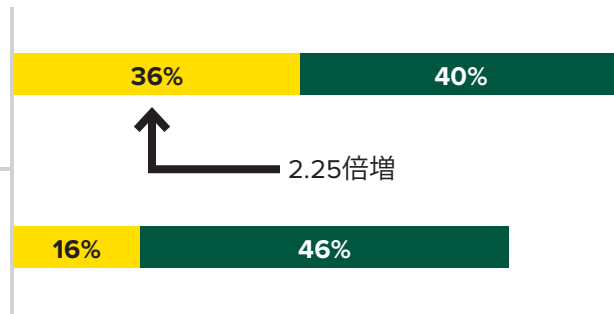


「従業員用PCへの投資額は経時的にどのように変化しましたか？」

- 実質的に増加した(10%以上)
- 若干増加した(10%未満)

向こう2年間に見込まれるPC／ノートパソコンへの投資額：

過去2年間のPC／ノートパソコンへの投資額：



対象：従業員用の機器、ソフトウェア、パンデミック後のオフィス再開計画を担当するビジネス・技術関連の意思決定者1,733人
出典：2021年6月 Forrester Consulting調査 (Microsoft委託)

ハイブリッドワーク用に最適化されていないPC

現在使用されているデバイスで従業員が最初に直面する課題が何かを理解することは、企業が改善を目指してどこに投資するかを理解するには不可欠なことです。ビジネスリーダーの見積もりでは、通常勤務で従業員は平均3.5個の技術的課題に直面することが予測されており、具体的にはバッテリー駆動時間が短い、処理速度が遅い、セキュリティの欠如、モバイル機器への不完全な対応などをはじめとする問題が含まれます(図3参照)。現時点では、ビジネスあるいは技術担当の意思決定者が現在のデバイスのハイブリッドワークへの完全対応については自信がないと認識していることが示されています。たとえば、現在のデバイスが従業員にモバイル性と柔軟性を提供することに強く同意しているのはわずか32%のみ、同時に現在のデバイスがハイブリッドワークにベストインクラスであると回答しているのは30%です。これは、従業員が会社のオフィスでも、自宅でも、その間を移動する間にも良好に仕事ができることを指します。このようなギャップが確認されるなか、70%を超えるアンケート回答者が、ハイブリッドワークの成功には大規模ないし中規模のPC品質の改善が必要であると考えています。

このような改善が無論、言うは易く行うは難しであることは明確です。ビジネスリーダーは、希望の、あるいは必要な技術の変更は把握していますが、たとえば以下のような障壁が存在することによって実現が阻まれています。

- **セキュリティに関する懸念。** どのような新技術を導入する際にも、セキュリティは常に一番の懸念事項です。回答者の41%が、一番の障壁にセキュリティをあげています。セキュリティ担当チームはよりモバイルなワークフォースのために、適切な権限や、ファイアウォール、物理的なセキュリティ対策の整備などを確実にするため、たとえばデバイスタイプのシフトチェンジ(つまりデスクトップからノートパソコンへの変更、または1台に両方が搭載されているものへの変更)を含む各種新デバイスの準備には、知恵を絞り出して対応する必要がありました。

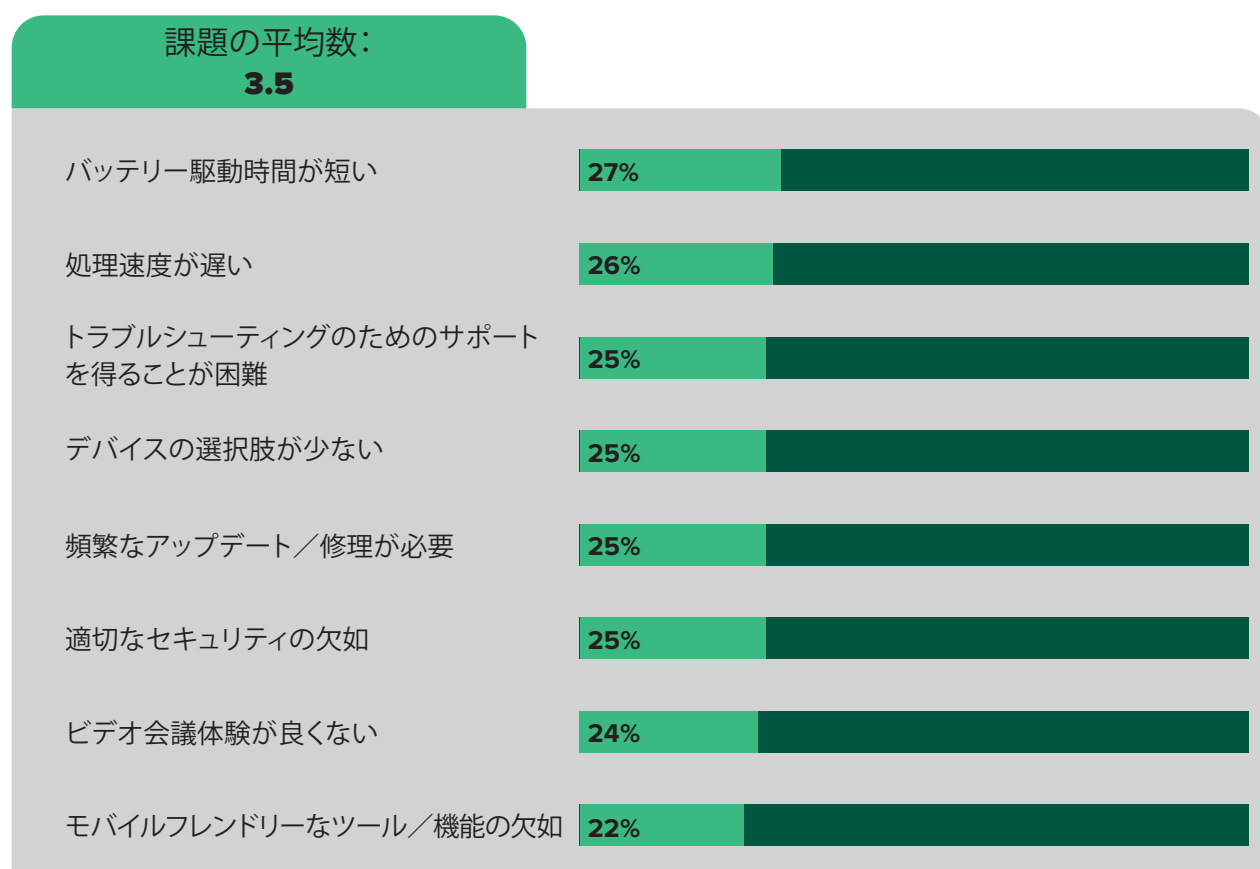


70%を超えるアンケート回答者が、ハイブリッドワークの成功には大規模ないし中規模のPC品質の改善が必要であると考えている。

- ・ **限られた予算。**予算は常に課題ですが、意思決定者は新デバイスへの予算増額を見込んでいます。つまり予算は現在の課題であるとはいえ、PCへの投資資金が増加するにつれ、今後はあまり障壁ではなくなることが予測されます。
- ・ **パンデミック後の明確なオフィス計画の欠如。**技術的なニーズが何かを把握することは、明確なワークプランがなければ困難です。回答者のおよそ1/3が、従業員用デバイスのニーズに大きな影響を及ぼすオフィス再開計画は未だ最終調整中であると回答しています。これはまた、ビジネスに理想的なデバイス戦略には適切な人員の確保が必要になるため、ITのスタッフィングにも影響が及びます。

図3

従業員が直面するメインのPCに関する課題



対象：従業員用の機器、ソフトウェア、パンデミック後のオフィス再開計画を担当するビジネス・技術関連の意思決定者1,733人
出典：2021年6月 Forrester Consulting調査 (Microsoft委託)

PCには正しい機能、周辺機器、サポートプロセスが必要

企業ではすでに、従業員により優れたデバイスを支給できるようにさまざまな障壁と課題に対する打開策がとられています。しかしながら、ビジネスあるいは技術担当の意思決定者は、従業員ニーズの充足と従業員体験の成功には、確実に正しい機能と特長を持つデバイスに投資することが必要です。

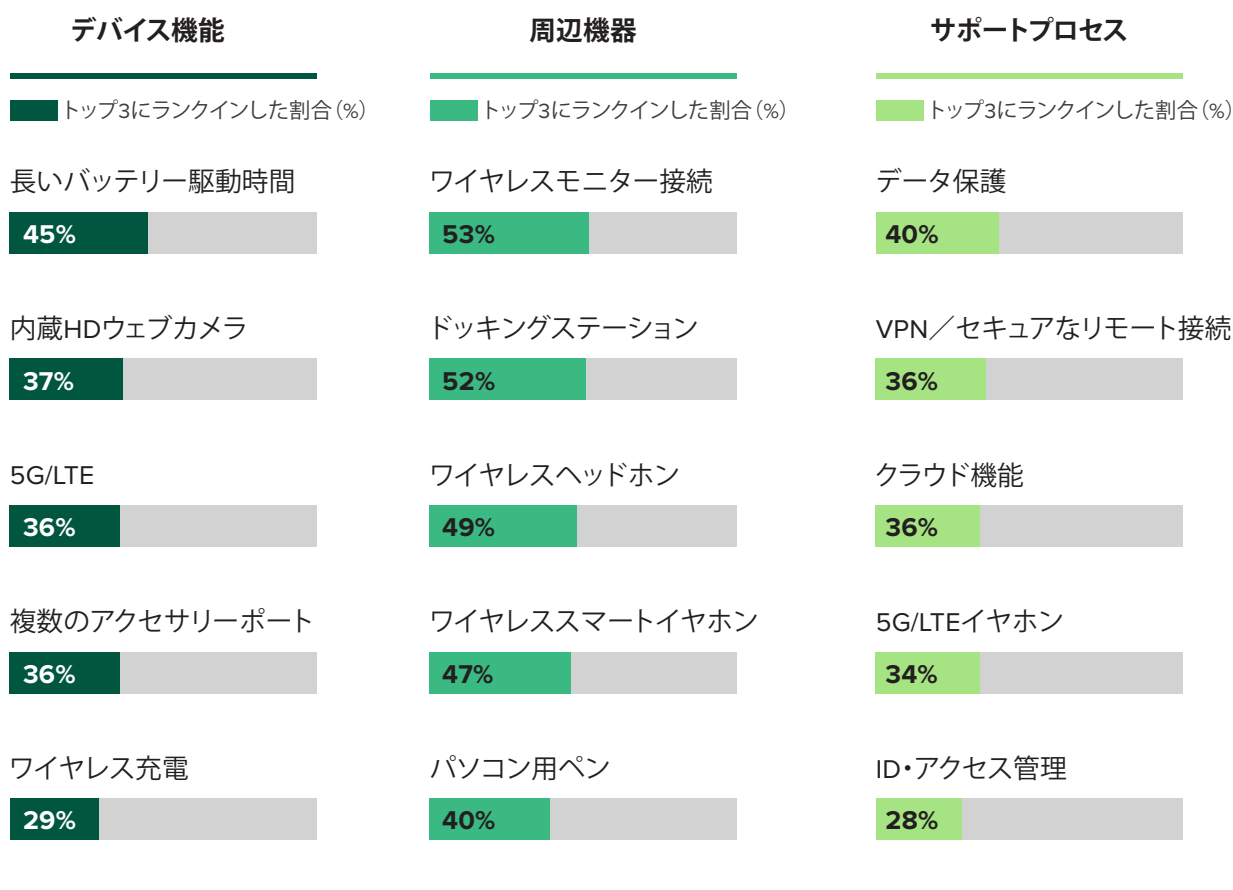
当社調べによると、意思決定者は向こう2年間にわたって、セキュリティ、速度、ソフトウェアおよびアプリケーションとの互換性、ビデオ会議機能、PCの新しいセットアップへの適応を優先することを予定していることが明らかになっています。このような機能はすべてハイブリッドな労働力には必要不可欠です。以下に示す回答のとおり、従業員をハイブリッドな労働力に移行させるにあたって最重要となるのは、PC機能、周辺機器、サポートテクノロジーへの対応力です(図4参照)：

- **PC デバイスの機能。**最も重要なデバイス機能にあげられたのはリモート機能やオンザゴー機能で、たとえばバッテリー駆動時間が長いことや、内蔵HDウェブカメラ、5G/LTE対応、アクセサリポートなどがあります。このような各種機能が備わっていると、移動が多く充電する時間が取れず、WiFiやセキュリティの不足している場所からインターネット接続が必要な従業員にとっては大いに役立つことでしょう。
- **PC周辺機器。**正しい周辺機器はハイブリッドな労働環境を大きく向上させます。トップにあがった周辺機器は、ワイヤレスのモニター接続、ドッキングステーション、ワイヤレスヘッドホン／イヤホンでした。いずれの周辺機器も在宅勤務と会社のオフィスワークの両方に機能拡張を提供します。つまり、これらの機能によって余分なアイテムを持ち歩く必要がなくなり、大掛かりなセットアップなしに差し込むだけで常設の在宅オフィスや会社のオフィスのセットアップがより簡単にできるため、ハイブリッドワークスタイルが完璧に補完されるようになります。
- **技術とプロセスのサポート。**正しい機能が備わった品質の高いデバイスがあることは基本ですが、デバイスを使用するには、会社の技術インフラストラクチャ(サーバー、ネットワーク、クラウド、アプリデータベースなど)への接続が必要です。ハイブリッドな労働環境には、デバイス以外にどの技術またはプロセスが最も重要かという質問に対して得られた回答の上位は、

データ保護、VPN／セキュアなリモート接続、クラウド機能、5G/LTE、IDおよびアクセス管理でした。トップ5のうち3つはセキュリティに関するものです。これにより、従業員が場所を選ばずに必要なデータやシステムに接続するためのセキュアな方法の構築に力を注ぐ必要性が高まります。正しいクラウドイネーブルドなソフトウェアを持つことは、それによる成果の実現には有益です。

図4

トップにランクインしたPC機能、周辺機器、サポートプロセス



対象：従業員用の機器、ソフトウェア、パンデミック後のオフィス再開計画を担当するビジネス・技術関連のさまざまな意思決定者

注：すべての回答が示されているわけではありません。

出典：2021年6月 Forrester Consulting調査 (Microsoft委託)

PC改善への投資が存続するビジネス利益を推進する

ビジネスあるいは技術担当の意思決定者は今、正しいデバイスによる効率的でハイブリッドな労働環境のビジョンを現実のものとするためにアクションを取り始めています。デバイス改善のための取り組みは、主に3つのタスクに分けられます：

- **従業員用PCのための資金増額。**ほぼ50%のアンケート回答者が、ビジネスにとってはより優れたPC／ノートパソコンへの投資が不可欠な次のステップであると認めています。予算の増額に伴い、46%が古いデバイスをより新しく、よりポータブルでハイブリッドな労働環境に適したものへと変更する意思を示しています。
- **リモート接続のためのPCセキュリティの改善。**ビジネスリーダーは、従業員がどこからでも安全な接続を確保できることを望んでいます。パンデミック後の働き方を準備する次の重要なステップとして、51%がVPNなどのツールでデバイスのセキュリティを改善することを検討したことが示されています。
- **クラウドソフトウェアの使用の拡大。**クラウドは、オフィス勤務が常態化していない状況で従業員が新しいPCをセットアップする際に完璧な解決策です。そのため、47%の回答者が、オンボーディングや新しいPCのインストールプロセスの簡素化を目的とした組織におけるクラウドソフトウェアの使用拡大を希望していました。

PCの改善による利益は従業員と会社に及ぶ

従業員はPCの改善によって複数のポジティブな結果が推進されることを期待しています。たとえば生産性の改善(41%)、より優れたビデオ会議やシェアリングアプリケーションによるコラボレーションの強化(40%)、ハイブリッドオフィスワーカーのよりフレキシブルな働き方(38%)、ポジティブな顧客体験を届ける能力の改善(38%)などです。正しいPCに正しい機能が備わっていて、ハイブリッドワークがサポートされることにより、従業員は仕事そして顧客対応により多くの時間を費やせるようになり、仕事場を変更するたびに必要なセットアップや接続のための時間を短縮できます。

ビジネスの観点から幅広く見てみると、従業員が体験する利益がいかに事業成果に直接的に結びついているかは一目瞭然です(図5参照)。従業員の生産

性は事業全体の生産性につながり、それが収益の増加、コストの削減、イノベーションの増加につながります。一方で、これは従業員の定着と企業文化の改善にもつながります。必要な機器が整備されていることで、従業員はより優れた顧客へのサービスが可能になり、会社全体の顧客体験が向上します。技術担当の意思決定者は、より優れたPCへの投資に伴って整備されるツールとテクノロジーソリューションの活用が増加することを見込んでいます。そのようなツールは、新たな労働状況を補完するために目的をもって選定されていることから、従業員は支給されたツールをより活用したいと思うことでしょう。

主な推奨事項 →

図5

トップにランクインしたPC機能、周辺機器、サポートプロセス

● 見込まれる従業員関連の利益

- 41% 生産性の向上
- 40% ビデオ会議アプリケーションとシェアリング アプリケーションによる、より優れたコラボレーション
- 38% ハイブリッドオフィスと場所を選ばない未来の働き方との高い互換性
- 38% より高い柔軟性／モバイル性
- 38% ポジティブな顧客体験(CX)を届ける能力の向上
- 38% 従業員体験(EX)の向上
- 36% 従業員のウェルビーイングの改善
- 32% IT担当の負担軽減

● 見込まれるビジネス関連の利益

- 54% 生産性の向上
- 46% 顧客満足度／顧客体験の向上
- 45% 既存のテクノロジーソリューションのハイブリッドオフィスと場所を選ばない未来の働き方の有効活用
- 43% 従業員定着率の上昇
- 43% より優良な職場文化
- 42% イノベーションの促進
- 41% 収益増加
- 39% コストの削減

対象：従業員用の機器、ソフトウェア、パンデミック後のオフィス再開計画を担当するビジネス・技術関連の意思決定者1,733人
出典：2021年6月 Forrester Consulting調査 (Microsoft委託)

主な推奨事項

パンデミックの沈静化に伴い、70%の組織でよりフレキシブルかつリモートのワークスタイルが取り入れられる可能性が高いことが示されています¹。従業員が1週間のうち数日を会社のオフィスで勤務し、残りは働く場所を選択することが可能なハイブリッドな職場は増加の一途をたどることでしょう。その結果、従業員ジャーニーは進化し、柔軟性、安全性、そして在宅勤務から会社のオフィス、さらにはホテルの部屋など場所・状況の切り替えに対応できる優れたPCとアプリケーションの需要が必然的に高まります。

ビジネスあるいは技術担当の意思決定者が直面するハイブリッドワークにおけるPCのニーズと課題に関するForresterのインデプスなアンケート調査により、重要な推奨事項がいくつか導き出されました：

従業員体験(EX)を戦略の中心に据える。

従業員体験は、労働者が雇用主の環境で行われるインタラクションによっていかにエンゲージしているかについて測定されたものですが、その高低は使用できるテクノロジーの質に左右されます。従業員のニーズが仕事の性質に沿って変化することを理解し、ニーズをオフィス再開とPC戦略の中心に据えることをおすすめします。高いEXは従業員の生産性を促進するための鍵であり、そこに投資することによって可能な限り最高の投資利益率が生み出されます。

ハイブリッドワールドにおける新たな従業員ジャーニーをマッピングする。

従業員の毎日のニーズを理解するには、従業員が日々迎えるジャーニーと日々重要な瞬間が何かを確認することをおすすめします。従業員はビデオ会議のために、リビングルームから書斎に移動しているだけではありません。オフィスのフレックスデスクでの出退勤を行い、さらに安全性が確保されているならば、飛行機やカフェ、顧客の場所から仕事を行います。異なる役職を担当する従業員へのヒアリングとアンケートで役割に特有なジャーニーマップを作成するとよいでしょう。

従業員ジャーニーをマッピングし、従業員体験を推進するPCを選択する。

従業員のニーズのマッピング作成に重要な瞬間を記録し、PCには何が必要になるかを決定します。たとえば、ビルトイン型の高品質なウェブカメラは多くの従業員にとって必須アイテムとなるでしょう。ハイブリッドワーカーには、フレックスデスクから会議室に移動するためにバッテリー駆動時間が長いことが必要になります。出張を再開する従業員には、ほぼ確実に5G/LTEが役立ちます。このようなジャーニーマッピングを役職別に行うことをご検討ください。営業担当やソフトウェアエンジニアには、同じPC、あるいは役割別のデバイスを追加支給することによって異なるニーズに対応することが可能になることもあるでしょう。

モダンなテクノロジースタックを見据えたビジネスケースを明確にする。

優れたPC体験はPCハードウェアから始まりますが、それだけではありません。従業員に優れた従業員体験を提供するためには、IT部門にはクラウドイネーブルドのモダンな管理ツールが必須となります。そのスタックはIT管理以外にも生産性アプリケーションやウェブアプリケーションなど、可能なときにはいつでも従業員の生産性を急上昇させます。

デバイス刷新へのアプローチを再検討する。

PC刷新にまつわる会社のポリシーは最短2年から7年までなど、組織によって幅があります。ナレッジワーカーの多くにとって、最新のテクノロジーは必要な機能とイノベーションを提供するために必要となり、さらに仕事のタスクを完遂する速度や、仕事中にはサポートがほぼ不要なレベルの安定性も必要になります。頻繁な刷新サイクルは会社の事業継続性とレジリエンス戦略に有用で、並行してエンドポイントのセキュリティに対する姿勢の改善にもつながります。

付録A:調査方法

本調査でForresterは、ハイブリッドワークとPCの調査のため、世界11か国のIT、HR、基幹業務を担当する1,733人の意思決定者にオンラインアンケートを実施しました。調査実施国は、アメリカ、カナダ、英国、フランス、ドイツ、スペイン、オランダ、スウェーデン、イタリア、日本、オーストラリアです。回答者には、調査への協力に対する謝礼が贈られています。調査は2021年5月に開始され、2021年6月に完了しました。

付録B:回答者の属性

地域	
北米	18%
欧州、中東、アフリカ	63%
アジア太平洋地域	18%

業界	
小売	13%
テクノロジー	11%
製造	10%
金融サービス	10%
ヘルスケア	7%
その他	47%

企業規模	
従業員500～999人	25%
従業員1,000～4,999人	25%
従業員5,000～19,000人	30%
従業員20,000人以上	16%

役割	
基幹業務	33%
IT	33%
人事／EX	33%

役職	
経営幹部	34%
副社長	22%
ディレクター	44%

注:値を四捨五入しているため合計が100%にならない場合があります。

付録C:補足資料

¹ 出典:『Don't Miss Your Anywhere-Work Opportunity』Forrester Research, Inc. 2021年3月29日



FORRESTER®